

空港に近い便利な地で、  
自分しかできん人生歩む。

## 自然の恵み、人のあたたかさを 感じながら「土と共に生きる」。

宮崎県にて18年間中学校教師をしていた小玉宏さん、学研教室の先生をしていた美香さん夫婦。平成26年3月に大分市から国東町小原に移住。

教師をしているときに、へき地の学校へ異動した時に、田舎暮らしの魅力に触れ、いつかは田舎で自給自足の生活に憧れるようになる。教師としての実績を評価され、教育委員会の方へ移動となり次のステップに進むのですが、今までの教師経験が活かさない現場で、なかなか上手い事いかなく、そんな状況でも前を向いて進まないといけないと思った時に、元気の言葉に出会う。筆文字の元祖ともいえる師匠、下川浩二さんに出会い、書家としても活動をしていく。また、講演家としても各地に呼ばれることが多く、公務員をしながら各地での講演が難しくなり、公務員を捨て憧れていた田舎暮らしの道を歩くこととなる。講演家として年に約150講演ほど全国各地で行っており、美香さんの出身地の大分県内で移動に便利な田舎を探して辿りついたのが、空港がある国東市。

空き家バンク物件も豊富で、移住に力を入れている地と感じたので、この地で自給自足が出来るぐらいの農地が見つかった物件を探す事となり、今住んでいる物件を借りる事となる。

少し手を入れないといけないう物件でしたので、自分達が住む空間作りにも力を入れ、とても素敵な空間が出来あがっていました。大きい所は大工さんに入ってもらい、大工の息子でもある旦那さんが自分で出来る所は自分で手を入れ、自分達の空間に。

### 国東市に来て感じたこと

空気と水がキレイで、山あり海ありの自然に恵まれた地。ぜんそくがあった宏さんも、この地に来て咳き込むこともなくなってきた。

地域の方々も、移住者にはすごく協力的に感じた。借りた草がいっぱいの3反ほどの田んぼを草刈りをしていたら、近所の人に熱意が伝わり、トラクターや農機具を貸してくれたり、農業未経験の二人にいろいろと教えてくれたりと、すごく面倒を見て頂いている。そのおかげもあり、初めての米作りで、1.2トンのお米を収穫。子ども達や、農業を始めたい方に、体験してもらえたいと話す。



### 移住を考えている方へ

田舎暮らしをしたいと考え、迷っているのなら一歩踏み出す事。地域の方々も、何も知らない地に来てくれた方の力になりたいと思っている方がいるので、思いっきり甘える事も必要。自分から話かけたり、行動することは大切。



#### Profile

小玉 宏 宮崎県出身  
美香 大分県出身

移住年月 平成28年4月

移住前職業 講演家・書家(自営)

移住元 大分県大分市

家賃 月2.5万円  
リフォーム費用 約300万円  
引越費用 30万円

